

# 校報かめのこ

福生六小ホームページ <http://fussa-6e.hs.plala.or.jp/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



## 忘れられない一言

福生市立福生第六小学校  
統括校長 榎並 隆博

小学校1年生の時に体調を崩して一週間入院しました。子どもばかり4人くらい入っていた病室で、とても不安な一週間を過ごしました。夕食は食堂で食べますが、テレビでいつも家族で見ていた番組が流れると、寂しさが増したのを覚えています。

入院して3日目くらいだったと思います。同じ病室いた子に誘われて、6年生の男の子が入院している個室に遊びに行きました。その子は随分長く入院しているようで、部屋にはおもちゃやゲームがたくさんあり、毎日何人もの子どもがその部屋に集まって思い思いに遊んでいたようです。新顔の私は、たくさんのおもちゃに目を奪われ、入院生活の不安が吹き飛ばような感覚になりました。みんなが自由に遊んでいるので、私もめあてのおもちゃを見付け、遊ぼうとしたときです。「おまえはダメだ!」と、この部屋の主である6年生の男の子に一喝されました。何か理由を言われたかどうか覚えていませんが、とにかくその瞬間の悔しさだけは今でも鮮明に覚えています。1年生と6年生です。抗いようがありません。また、とても大きな体格の持ち主でした。その後退院するまで、同じ部屋の子に誘われるままその個室を訪れましたが、私におもちゃで遊んでよいという許可は、最後まで下りませんでした。私は退院したその日から、大きくなったらいつかこの名前も知らない男の子の居場所を探し出し、必ず仕返ししてやろうと心に決めました。中学を卒業するくらいまで、本当にそう思っていました。今でも実家に帰り、たまたま入院したその病院の近くを通ると、このときの出来事を思い出します。

さすがに少し大人になった私は、あの子に仕返しをしようなどと思っていません。改めて振り返ると、あんなにたくさんのおもちゃやゲームを持っていたあの子は、もしかするととても重い病気にかかっていたために、長期入院していたのかもしれない。大きな体格も、もしかすると薬の作用か何かだったのでしょうか。あれほど憎たらしかった6年生の男の子は、実はとてもかわいそうな子だったかもしれないのです。ただ、そうは思っても「おまえはダメだ!」と言われたときのあの悔しさは、今でも忘れられないのです。

人は人の価値を、その人の言動や容姿などで判断することが多いと思います。そして判断するときは、その人の背景を考えることはあまりしません。ある程度深い関係があれば、その人のもつ背景から、その言動の真意を理解しようとするかもしれませんが、多くはその人の言動を聞いたまま、見たまま判断するのではないのでしょうか。だから大人は例えば初めて会う人にはとても気をつかいます。初めて参加する集団においては、できるだけ余計なことは言わないように、しないようにします。当然、長く付き合う中でも様々気をつかうべき場面がありますから、「親しき仲にも礼儀あり」などというのでしょうか。

あの子が言った「おまえはダメだ!」のセリフは、かわいそうな子だから仕方ないとは、なかなか思えないものです。